

|                                     |   |
|-------------------------------------|---|
| 科目名                                 | 基礎腫瘍学特論 Topics in Basic Oncology  |
| 授業形態                                | 講義(e-ラーニング)と演習  |
| 標準履修年次                              | 1年次   |
| 実施学期・曜時限等                           | 春A学期 月曜3・4時限  |
| 実施場所                                | 共同利用棟B 204  |
| 単位数                                 | 1単位   |
| 担当教員名                               | 水野道代 Mizuno Michiyo<br>山下美智代 Yamashita Michiyo<br>牟田理恵子 Muta Rieko  |
| ティーチングフェロー(TF)・<br>ティーチングアシスタント(TA) |   |
| オフィスアワー等                            | 随時(メールで予定を確認の上訪問すること)   |
| 授業の到達目標<br>(学習成果)                   | 1 腫瘍が発生・進展する基本的プロセスを理解できる。<br>2 悪性腫瘍の疫学について知識を深めることができる。<br>3 がんの診断、病期決定、経過観察のために必要な種々の検査方法を理解できる。<br>4 がん治療に必要な病態生理学上の基礎的知識を深めることができる。   |
| 他の授業科目との関連                          |   |
| 履修条件                                | 履修要件はないが、本科目は専門看護師教育課程用に構成されている(他の授業科目との関連は専門看護師用履修モデルに掲載されている)。がんプロのe-ラーニング受講のためのガイダンスを受け、履修・聴講登録をすることが必要  |
| 授業概要                                | 病態生理学全般の中から、特に、腫瘍の発生・進展プロセス、がんの診断や病期決定・経過観察のために必要な種々の検査方法に関して、がん看護に関連した専門的な知識を深める。  |
| キーワード                               | 腫瘍学 oncology, 癌 cancer, 病態生理学 pathological chemistry  |
| 授業計画                                | 1(4月15日)基礎腫瘍学ガイダンス・がん看護における知識の重要性(水野・山下・牟田)<br>2(eラーニング)がん発生と予防/化学予防Ⅰ(鈴木裕之)<br>3(4月22日)がん発生と予防/化学予防Ⅱ(発表・討議)(水野道代)<br>4(eラーニング)悪性腫瘍の疫学(江口英孝)<br>5(5月9日)悪性腫瘍の疫学Ⅱ(発表・討議)(牟田理恵子)<br>6(eラーニング)"がん検査医学(がんの診断、病期決定・経過観察に必要な検査)Ⅰ<br>(磯部公一)<br>7(5月13日)"がん検査医学(がんの診断、病期決定・経過観察に必要な検査)Ⅱ<br>(発表・討議)"(山下美智代)<br>8(eラーニング)腫瘍内科学概論(兵頭一之介)<br>9(eラーニング)腫瘍外科学概論(山口茂樹)<br>10(5月20日)腫瘍の病態生理とがん治療(水野道代)<br><br>*2, 4, 6, 8, 10は国際協力型がん臨床指導者プログラムのe-ラーニングによる授業であるため、視聴に必要な手続きをとること。 |
| 学修時間の割り当て及び授業外における学修方法              | 講義(e-ラーニング)(50%)、演習(50%)<br>e-ラーニングでは、看護に重要な点を適切にとらえ、必要な箇所は十分に理解できるまで何度も繰り返し聴講する。疑問を感じている項目について、積極的に教科書を調べたりすることにより、理解を深める。関心領域に当たる診療科の症例検討会等に積極的に参加する。e-ラーニング聴講後に行われる討議のために、事前に資料を作成し準備をする必要がある。   |

|                         |   |
|-------------------------|---|
| 成績評価方法                  | e-ラーニングで出題される小テストの結果は単位取得の要件となるが、最終の評点には含めない。行動目標の1～4について指導に従って大旨できればC以上と判断する。e-ラーニング講義と教科書等に基づいて討議資料を正確に作成し発表できていればB以上と判定する。資料や討議内容に最新の知見が含まれ、がん看護への知識の応用法を述べる事が出来ればA以上と判定する。E-ラーニングで学習した内容を毎回レポートしてまとめ、レポートについて教員との対面討議で発表し、質疑応答を行う、この内容を前述の基準によって評価し評点を出す。 |
| 教材・参考文献・配布資料等           | (教科書)指定しない。(参考書)講義の中で随時提示する。  |
| その他(受講生にのぞむことや受講上の注意点等) | 科目受講前に、科目責任者らによる受講ガイダンスを受けること。発表・討議については、H28年度は5月23日に集中で行うため、それまでにe-ラーニングの受講を済ませ、課題(レポート)を準備しておくこと。   |